

学校における「電力の地産地消」が令和8年7月1日から始まります！

(1) さいたま市“ゼロカーボンシティ”の実現に向けた取組

◆本市は、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロとする“ゼロカーボンシティ”の実現を目指しており、中間目標として2030年度までに2013年度比で51%の温室効果ガス削減を掲げています。

⇒目標達成に向けた一つの施策として、エネルギーマネジメント(エネマネ)事業＝学校における「電力の地産地消」を7月1日から開始します。



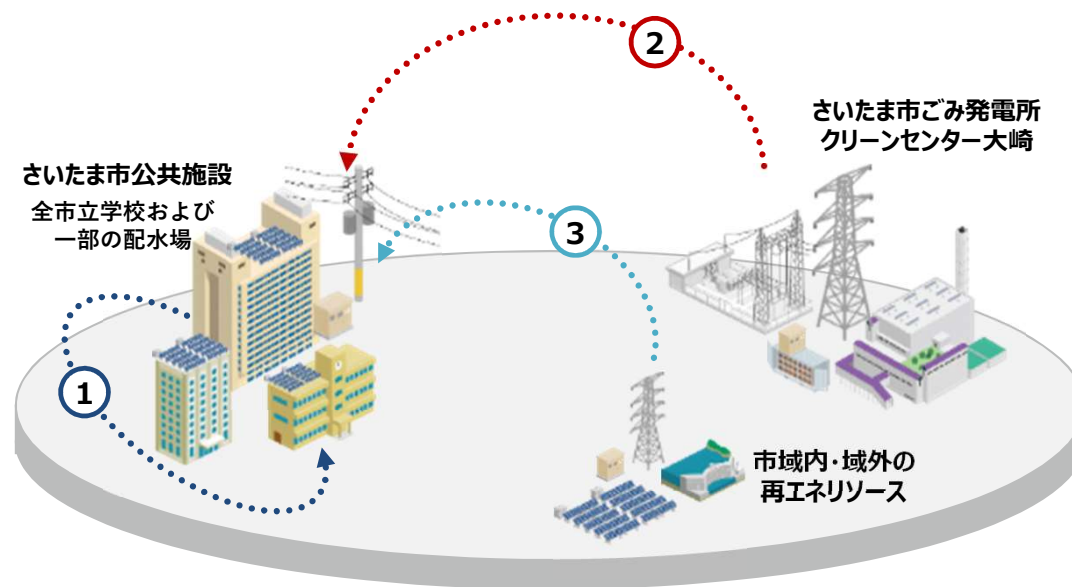
(2) エネマネ事業の概要(右図参照)

①太陽光発電による電力については、従来どおり市立の学校や一部の配水場で活用します。

②【NEW】クリーンセンター大崎でゴミ焼却時に発電した電気が、市立の学校や一部の配水場へ供給されます。

③【NEW】ゴミ焼却時に発電した電力及び太陽光発電で賄えない電力については、再生可能エネルギーを購入し、市立の学校や一部の配水場へ供給します。

■事業概要(イメージ)



<見込まれる効果>

対象となる市立学校と配水場の電力由来のCO₂排出を
実質ゼロとし、**年間約2.4万tのCO₂**が削減見
込まれ、**約9,700世帯分**に相当します。

今まで :【太陽光発電】+【電力購入】

これから:①【太陽光発電】+②【ゴミ発電】
+③【再エネ電力購入※不足分】

全て再エネ

※一部の学校には最先端技術であるペロブスカイト太陽電池も導入予定

